

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	2016年度 細胞周期合同セミナー（北海道釧路市）
演題名	シロイヌナズナ切断組織の癒合と時空間的遺伝子発現解析
発表者	<u>朝比奈雅志</u> （植物生理学研究室）
内容	<p>シロイヌナズナの胚軸や花茎を切断すると、茎の細胞は一過的にメリステマティックな状態に移行し、傷害によって失われた機能を修復する現象が見られる。この現象を応用した技術が接ぎ木である。今回の発表では、本研究室がこれまでに行ってきたレーザーマイクロダイセクションを用いた時空間的遺伝子発現解析と、共焦点レーザー顕微鏡を用いた胚軸間接ぎ木の解析結果を中心に紹介した。この研究は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、「科研費若手B」による支援を受けて行ったものである。</p> <p>セミナーでは、特別講義として阿寒国際ツルセンターの職員によるタンチョウ鶴の生態に関する講義や、阿寒湖周辺を散策しての植物観察も行われた。</p>
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>会場近くの阿寒湖</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人工飼育されたツル</p> </div> </div>